

大中の湖南遺跡から発見された大量の木製品は、弥生時代の農具研究の本格的な出発点となりました。この遺跡の最初の調査に全面的に参加した当館館長と、その当地である近江の木製品について調査研究をすすめている阿刀氏がそれぞれの発表と対談を行います。

コーナー展示「近江の玉と弥生」関連ミニシンポジウム

日時：2015年9月12日（土）
14時～16時

定員：170名
（当日先着順・13時30分から受付
開館時より整理券配付）

場所：当館1階ホール

参加費：無料（入館料が必要です）

講座①

大中の湖南遺跡 木器研究の歩み

黒崎 直（当館館長）

講座②

近江の木製品－弥生・古墳の農具を中心に－

阿刀弘史氏（滋賀県埋蔵文化財センター）

シンポジウム

木製品を語りつくす

阿刀氏、黒崎、塚本浩司（当館総括学芸員）

開催中

平成27年度夏季特別展

とんぼ玉 100人展

—きらめく創造、ガラス作家たちのアトリエ—

2015年7月18日（土）～9月23日（水祝）

第4回大阪・滋賀博物館連携企画

コーナー展示

近江の玉と弥生

次回の展示

平成27年度秋季特別展

海をみつめた縄文人

—放生津潟とヒスイ海岸—

2015年

10月10日（土）～12月6日（日）



- 考古学セミナー
- ワークショップ
- 展示解説